

JP UNEXAMINED UTILITY MODEL PUBLICATION 60-261

Title of the Utility Model: WIPER LINKING STRUCTURE

Date of Publication: January 5, 1985

Application No.: 58-93025

Date of Application: June 17, 1983

Creator(s): Gosaku TERABAYASHI, Mitsuyoshi IIDA and
Masahiro UDA

Applicant(s): TOYOTA JIDOSHA KABUSHIKI KAISHA and
TOYODA JIDOSHOKKI SEISAKUSYO KABUSHIKI KAISHA

Int. Cl.: B60S 1/34, 1/18; F16C 11/04

ABSTRACT:

Fig. 2 shows a wiper shaft structure 20 of the utility model. As shown in Figs. 3 and 4, a pivot holder 26 rotatably supports a wiper shaft 22. A teeth washer 46, which is located at an upper end of the pivot holder 26, engages with the wiper shaft 22. The teeth washer 46 receives axial load that applied to the wiper shaft 22.

51Int. Cl.⁴

識別記号

序内整理番号

43公開 昭和60年(1985)1月5日

B 60 S 1/34

6519 3D

1/18

6519 3D

F 16 C 11:04

6907-3J

審査請求 未請求

(全 2 頁)

④ワイバリンク構造

21実 願 昭58-93025

22出 願 昭58(1983)6月17日

23考 案 者 寺林五郎

豊田市トヨタ町1番地トヨタ自動車株式会社内

24考 案 者 飯田三良

豊田市トヨタ町1番地トヨタ自動車株式会社内

自動車株式会社内

25考 案 者 宇田昌弘

大府市森岡町源吾4-6

26出 願 人 トヨタ自動車株式会社

豊田市トヨタ町1番地

27出 願 人 株式会社豊田自動織機製作所

刈谷市豊田町2丁目1番地

28代 理 人 弁理士 中島淳

⑤実用新案登録請求の範囲

ワイバームが連結されるワイバシャフトと、ワイバシャフトを軸支するピボットホルダと、ワイバシャフトに連結されるレバーと、モータの回転運動を前記レバーの揺動運動に変換するリンクロッドとを有するワイバリンク機構において、前記ワイバシャフトのピボットホルダに対するスラスト方向荷重をテイスワッシャにて支持したことを特徴とするワイバリンク構造。

図面の簡単な説明

第1図は従来のワイバシャフト支持構造を示す拡大断面図、第2図は本考案に係るワイバリンク構造の全体斜視図、第3図Bはワイバシャフト支持部分の縦断面図、第3図Aは第3図B:A-A線に沿う断面図、第4図はワイバシャフト上部の斜視図、第5図はその拡大断面図である。

20……ワイバリンク構造、22、24……ワイバシャフト、26、28……ピボットホルダ、30、32……レバー、34、36……リンクロッド、46……テイスワッシャ。

